



平成29年度各会計の予算規模

会計名	予算額	対前年度比		
		増減額	増減率	
一般会計	300億円	△14億円	△4.5%	
特別会計	国民健康保険事業	111億7,200万円	△1億7,000万円	△1.5%
	下水道事業	31億6,700万円	△5億300万円	△13.7%
	深谷中央特定土地区画整理事業	4億4,400万円	3,900万円	9.6%
	介護保険事業	47億3,300万円	1億7,700万円	3.9%
	後期高齢者医療事業	9億8,600万円	△400万円	△0.4%
	計	205億200万円	△4億6,100万円	△2.2%
合計	505億200万円	△18億6,100万円	△3.6%	

市政に対する一般質問

**大規模災害時に活用できるスタンダードパイプの設置を**



公明党 井上 賢二

**安全安心のまちづくりについて**  
 Q 密集市街地での大規模災害時に、消火資機材として市民が活用できるスタンダードパイプを設置しないか。  
 A 市が自主防災組織に交付している資機材整備の補助金を活用し、地域での整備を支援していく。  
 Q 災害発生時の個人の備えの啓発と組織の対応は。  
 A 住宅の耐震化や食料の備蓄などの個人の備えへの啓発を行い、市職員や市民も参加できる現実的、実践的な自

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。3月定例会では、3月16日・17日・21日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6ページまで続きます)。

**散策や野鳥観察ができるせせらぎ広場の今後は**



あやせ未来会議 安藤多恵子

**せせらぎ広場の今後について**  
 Q 木道があり野鳥観察もできる広場が閉鎖され市民から当惑する声を聞くが、建設の経緯などや今後の考えは。  
 A 平成14年に自然型公園として整備したが、老朽化が進み危険な状態となっていたため、木道と展望デッキを撤去した。木道の再設置は多額の費用が掛かるため難しいが、展望デッキの再設置を検討している。  
**公共施設マネジメントにおけるまちづくりについて**  
 Q 将来世代に費用負担を押し付けないよう策定した基本方針の進捗状況は。  
 A 平成29年度から第一期ハコモノ系施設適正配置アクトを実施していく。  
**再生可能エネルギーについて**  
 Q 農地を活用して太陽光発電設備を設置できないか。  
 A 農地に設置できる営農型太陽光発電設備は、県の一時転用許可や収穫量の報告義務もあり、営農の確認ができない場合は設備を撤去するなど厳しい制約があり、現状では難しいと考えている。  
**散策や野鳥観察ができるせせらぎ広場の今後は**  
 Q ショップランに取り組み。公共施設の総量削減などは、市民も参加し理解を得られるようにしては。また、学校の再編をどう考えるのか。  
 A 公共施設適正配置アクションプランの策定に当たっては、地元の方々と十分に意見交換を行う。また、学校再編は保護者などの理解を深め、進める必要があると考える。  
**「赤ちゃんの駅」を市内に設置していく考えはないか**  
 Q 赤ちゃんの駅を設置し子育て支援を充実しないか。  
 A 事業者は、かながわ子育て応援パスポート事業への参加を要請し、授乳施設などを紹介することで、支援機能が果たせると考えている。